

主要テーマと重要なアイデア

イクレイ世界大会 2024 は、2024 年 6 月 18 日から 21 日までブラジルのサンパウロで開催されました。「コミットメントを行動へ変える」をテーマに、地方政府や自治体が持続可能な都市開発を世界中で推進する方法を紹介しました。

大会は、気候、自然、広範な持続可能性の分野におけるグローバルなプロセスに関する対話を深め、マルチレベルガバナンスの重要性を強調しました。

1. ネットワークの力とグローバルな影響力

イクレイは、世界 125 か国以上から 2,500 以上の都市、地域、町が参加する、持続可能な開発を推進する地方・地域政府の最大のネットワークです。

- **イクレイサンパウロ戦略的ビジョン 2024-2030**

大会中に発表された戦略的ビジョンは、持続可能な都市の実現に必要な要素を示すとともに、地域レベルでの取り組みを通じて世界的な変化を促すというイクレイのコミットメントを強調しています。

- **新リーダーシップ**

新たに選出されたイクレイのリーダーが発表され、今後 3 年間にわたりネットワークの方向性を主導します。

- **ジェンダー宣言**

イクレイの新たなジェンダー宣言は、組織の中核的使命にジェンダー平等を組み込むという強いコミットメントを示しています。本宣言は、女性のエンパワーメントを推進し、ジェンダーに固有の課題に対応するとともに、包摂的なガバナンスと計画の実現を目指すものです。

- **気候ボンドイニシアティブとの提携**

イクレイは、気候ボンドイニシアティブとの戦略的パートナーシップを発表しました。この連携により、影響力の大きい地域気候プロジェクトと、必要な資金および専門知識を結びつけることで、地方政府への支援を強化します。

本取り組みは、地方政府や企業が持続可能なインフラの構想を、具体的な投資準備プロジェクトへと転換することを支援する、グローバルなイニシアティブ「変革的行動プログラム (TAP)」の枠組みの下で実施されます。

2. 変化する世界への適応と地域事例

世界は、急速な技術革新と経済的不確実性に直面する中、気候危機と紛争という二重の深刻な課題に苦しんでいます。こうした状況にもかかわらず、地方・地域政府は持続可能な開発を推進し、コミュニティが新たな気候の常態に適応できるよう備えています。

- **都市インフラ保険ファシリティ (UIIF) プロジェクト**
自然災害に対する都市のレジリエンスを向上させるために立ち上げられました。メキシコ、ブラジル、ジャマイカ、ホンジュラスの7都市（クリチバ、ポルト・アレグレ、レシフェ、レイノサ、メリダ、テグシガルパ、キングストン）が最初にこのプロジェクトに参加しました。
- **適応事例:ブラジル、サンパウロ**
食料安全保障の強化（余剰食品の収集と再配布）や、緑地の保全（16,531ヘクタールに及ぶ私有緑地を公共の財産として宣言）など、持続可能な都市づくりに向けた取り組みが進められています。
- **モロッコ、シェフシャウエン**
健康的な食習慣の推進（地中海食博物館を通じた意識向上）
- **モザンビーク、ケリマネ**
マングローブの回復（洪水に対する最前線の防御として）
- **ドイツ、ルートヴィヒスブルク**
公平なエネルギー転換の加速（低所得世帯向けのソーラーデバイス助成金）
- **米国、クリーブランド**
気候行動における人種的公平性の推進として、気候行動計画に人種的公平性ツールを組み込む取り組み
- **インド、コチ**
洪水被災地における公平な再定住を推進し、最も良質な土地を被災者に割り当てることで、コミュニティの根こそぎの喪失を防止
- **フィリピン、デル・カルメン**

自然を基盤としたソリューションの推進（マングローブ管理プログラム、海洋保護区の整備、水域管理、海草の復元）

3. 南米に焦点を当てる

ブラジル、サンパウロは、イクレイ世界大会 2024 の開催都市であり、ブラジルおよび南米最大の都市として、持続可能性へのコミットメント、行動、革新において主導的な役割を果たしています。

- **サンパウロの取り組み**

2009 年にブラジルで初めて気候変動に関する市町村政策を可決し、2024 年には持続可能な都市開発を推進するために 150 億リアル（24 億ユーロ）以上の投資を発表しました。

- **アマゾン地域の都市**

アマゾンの生態系は、世界最大の熱帯雨林であると同時に、生物文化多様性のホットスポットの一つであり、多くの都市を擁しています。これらの都市は、都市における社会的・環境的リスクへの解決策を見出すために、パン・アマゾン都市フォーラムなどのイニシアティブを通じて支援を受けています。

- **南米の具体的なプロジェクト:ブラジル、ベレン**

都市生態系の保護（生態系ベースの適応計画の実施）

- **アルゼンチン、ブエノスアイレス**

住宅支援（ホームレスを防ぐための財政支援）

- **ブラジル、カンピーナス**

2050 年までのネット・ゼロ達成（地域気候行動計画の策定）

- **ブラジル、レシフェ**

ジェンダー公平性の統合（女性世帯主への住宅優先と災害リスク管理トレーニング）

- **ブラジル、サンパウロ**

洪水影響の軽減（ラテンアメリカ最大の雨水庭園ネットワークの構築）

- **チリ、サンティアゴ**

循環経済のためのグリーン通貨の革新（家庭廃棄物と引き換えに農産物を購入できる持続可能なコイン）

4. グローバルからローカルへ、そして再びグローバルへ：持続可能性の未来を形作る

COP28 におけるマルチレベルアクションの高まり、そして今後開催される CBD COP16 および UNFCCC COP29 を背景に、都市および地域は、グローバルな気候議論においてその声をさらに拡大する機会を得ています。

- **イクレイグローバル研究・イノベーションシンポジウム**

大会初日に開催された本セッションでは、研究者、イノベーター、都市実務家、投資家が一堂に会し、次の実践を担う新たな世代の育成を図りました。

- **革新的な資金調達**の緊急性

持続可能なイニシアティブを支援するための新しい金融モデルと投資戦略の開発の重要性が強調されました。

- **デジタル化と新技術のアクセシビリティと品質**

社会経済的な地位や地理的状况に関係なく、誰もが新技術にアクセスでき、質の高いデータが利用可能であることが強調されました。

- **サンパウロ都市サミット**

イクレイ世界大会 2024 は、サンパウロ都市サミットの主要イベントの一つであり、都市の基本的な役割を強調する一連の活動が 1 週間にわたって展開されました。

- **U20 (Urban 20)**

G20 諸国の都市が集まり、国家指導者の議論に情報を提供し影響を与える G20 エンゲージメントグループの準備会議が開催されました。

- **Cities Forward** イニシアティブ

アメリカ大陸の 24 都市が参加する共同事業であり、気候変動と持続可能性に取り組むための異分野間の協力の必要性が強調されました。

5. 主要な成果と発表事項:

- **ブラジル環境省との提携**
イクレイとブラジル環境・気候変動省（MMA）は、全国都市植林計画を策定するための協力関係を発表しました。
- **南米都市宣言**
南米の7か国74都市が、都市のレジリエンス戦略を作成し、地域に適応した解決策を計画・実施する能力を向上させるための資金と資源の必要性を表明しました。
- **公正な移行のための青少年マニフェスト**
青少年諮問委員会が策定し、公正な移行、人権保護、若者の政治的自立を促進するための提言が含まれています。
- **FAO-ICLEI 持続可能な食料システムのための公共管理者向けガイド**
テンアメリカ最大の都市食料システム研究所である LUPPA プロジェクトの新しい期間が発表されました。
- **沿岸都市イニシアティブ**
イクレイと IFRC は、アジア太平洋、アフリカ、ラテンアメリカ地域における沿岸都市のリスクを軽減し、レジリエンスを育成するための沿岸都市イニシアティブを立ち上げました。
- **プラスチック汚染を終わらせるための地方政府・自治体連合**
5大陸の都市・地方政府及び自治体が参加し、プラスチック汚染を終わらせるための野心的かつ実践的な手段を形作ることを目的としています。
- **持続可能なイベント運営**
イクレイ世界大会 2024 は、持続可能なイベント運営にコミットし、現地での廃棄物削減、再生可能エネルギーの利用奨励、地元での調達、水ボトル充填ステーションの提供などが行われました。

結論

イクレイ世界大会 2024 は、世界中の地方・地域政府が直面する課題と機会を浮き彫りにし、持続可能な都市開発に向けた協力、革新、そして行動の重要性を強調しました。地方政府は、単なるサービス提供者から、コミュニティの実現者へと役割を移行しつつあり、若者や脆弱なグループを含む多様な声を取り入れた包摂的なアプローチ

を優先することの重要性が改めて示されました。